

「医薬品評価科学特論」公開講義のご案内

2016年6月17日

臨床薬学教育研究センター

本年度開講の大学院生向け「医薬品評価科学特論」では、下記のとおり学外から2名の講師をお招きし、臨床試験とその評価に関する講演をしていただきます。大学ではあまり実践的に学ぶことのできない、製薬企業における臨床試験の実施とその成績の評価、医薬品医療機器総合機構（PMDA）における申請資料審査業務といった、新薬の研究開発に関わる現場の方々のお話を聞けるよい機会ですので、大学院生のみならず学部学生のみなさんにもぜひ聴講していただきたく公開講義とし、時間帯も午後に設定しました。事前登録は不要です。多くの教員、学生の皆様のご参加をお待ち申し上げます。
日にちにより場所が異なりますのでご注意ください。

記

第1回 「臨床開発における医薬品評価」 2016年7月5日(火) 13:30～15:00 A21 講義室
塩野義製薬株式会社臨床開発部 臨床薬理部門長 輪嶋恵宏先生

製薬企業での新薬開発において臨床試験の計画から遂行、さらには得られた結果の解析と評価について具体的事例をあげて解説をしていただく予定です。臨床試験を成功させるための戦略など製薬企業における開発現場でのいろいろな話が聞けると思います。開発職に興味のある方だけでなく、臨床薬学研究を志す多くのみなさんの聴講をお待ちしています。

第2回 「医薬品承認申請と医薬品評価」 2016年7月12日(火) 13:30～15:00 A32 講義室
医薬品医療機器総合機構（PMDA）薬物動態スペシャリスト 永井尚美先生

レギュラトリーサイエンスのひとつとして、PMDAでは新薬の承認申請に対する審査業務が行われています。申請資料には非臨床試験から臨床試験まで幅広い領域の試験成績が含まれており、審査にはそれぞれの領域での専門的知識が必要となります。製薬企業から提出される審査資料について規制当局においてはどのような視点で審査がおこなわれるのか、新薬開発の観点だけでなく医薬品の適正使用の観点から学ぶことができます。薬剤師を目指す皆さんにもぜひ聴講をお待ちしています。

以上

お問い合わせ：臨床薬学教育研究センター 矢野義孝（内線：365）、本橋秀之（内線：708）
本特論は、「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事業」の一環として実施しています。